

唐保保第1262号  
令和2年7月22日

保護者各位

唐津市長 峰 達 郎  
(公印省略)

安定ヨウ素剤事前配布説明会の開催について (お知らせ)

唐津市では佐賀県との共催により、万が一の原子力災害発生時に服用することで放射性ヨウ素による内部被ばくを抑える効果がある「安定ヨウ素剤」の事前配布説明会を開催いたします。

国の指針では、年齢が低いほど甲状腺がんの発症リスクが高く、服用を優先すべき対象者として、妊婦、授乳婦及び乳幼児を含む未成年が示されています。

このたびUPZ (玄海原子力発電所からおおむね5～30km)にお住まいの方を対象とした安定ヨウ素剤事前配布説明会を次のとおり開催します。安定ヨウ素剤の必要性や効果・効果をご理解いただき、事前配布についてのご検討をお願いいたします。

1 日時及び場所

(1) 8月18日(火) 14:00～16:00

相知町保健センター

※1歳6か月児健康診査と同会場で行います。

(2) 8月23日(日) 10:00～12:00

唐津市保健センター

(1)又は(2)のいずれか都合の良い会場にお越しください。

2 受け取り方法

8月号の市報とともに各世帯にチラシと申請書を配付します。配布説明会当日、記入した申請書をお持ちください。

※申請書は市・県のホームページからもダウンロードできます。

3 安定ヨウ素剤とは

裏面をご覧ください。

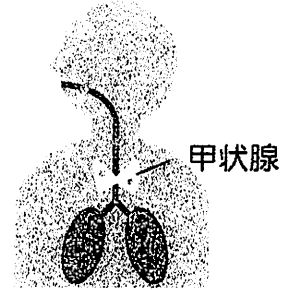
問い合わせ先  
唐津市保健福祉部保健医療課  
(電話) 0955-53-8271

## 安定ヨウ素剤とはなんですか？

- 原子力災害時に避難等に合わせて服用する薬です。
- UPZでは、緊急時には屋内退避することが基本となり、避難や一時移転が必要な地域を特定し、その地域に対応する各市町の緊急配布予定場所で安定ヨウ素剤を配布します。
- 安定ヨウ素剤の使用期限は、丸剤は5年、ゼリー剤は3年です。交換時期が近づいた時点で再び配布会に参加し、新しい薬剤と交換する必要があります。

## どのような効果があるのですか？副作用は？

- 原発事故が起きた際、原発から周囲に放出される主要な放射性物質の一つに「放射性ヨウ素」があります。
- 安定ヨウ素剤を服用することにより、この放射性ヨウ素が甲状腺にたまることを防ぎ、内部被ばくを抑える効果があります。
- 安定ヨウ素剤の主成分は昆布だしなどの様々な食品に含まれる成分であり、添加物も食品等に含まれる安全性が高いものであることから、アレルギー反応などが生じる可能性は非常に低いです。また、1回の服用で、甲状腺ホルモンの分泌に影響する可能性は非常に低く、副作用の心配はほとんどありません。
- 副作用による健康影響へのリスクよりも、服用しないことによる甲状腺の内部被ばくのリスクの方が大きいため、特に妊婦、授乳婦及び子どもは、服用の指示に従い、安定ヨウ素剤を服用する必要があります。
- 安定ヨウ素剤はすべての放射線の被ばくに効果がある万能薬ではありません。服用後も、必ず避難などの防護措置は継続してください。



## いつ、どれくらい服用するのですか？

- 安定ヨウ素剤については、避難指示とあわせて、国（原子力規制委員会）の判断に基づき、必要に応じて国（原子力災害対策本部）又は地方公共団体が配布・服用を指示します。安定ヨウ素剤の効果を十分に得るためには、服用のタイミングが重要となります。国、県又は市町が防災行政無線、広報車、テレビ、ラジオ、インターネットなどの様々な方法を用い、服用のタイミングを伝達しますので、指示があるまでは決して服用しないでください。また、指示のない地域の方も決して服用しないでください。
- 服用量は以下のとおりです。

服用対象者	服用形態及び服用量（ヨウ化カリウム量）
生後1か月未満	ゼリー剤（16.3mg） 1本
生後1か月以上3歳未満	ゼリー剤（32.5mg） 1本
3歳以上13歳未満	丸剤（50mg） 1丸
13歳以上	丸剤（50mg） 2丸

※ 規定量以上に服用することは、防護効果を高めることにはつながりません。